



乗務員基地再編

「新幹線車掌業務の新幹線統括本部への移管について」

提案を受ける！

2020年5月25日11時よりJR東労組東京地方本部は、JR東日本東京支社より「新幹線車掌業務の新幹線統括本部への移管について」提案を受けました。

今後は、職場と意見交換を行い、新幹線と在来線で働く組合員が安全、健康、ゆとりある職場を創り出すために取り組みを進めていきます。

○提案で示された主な内容

1. 丸の内車掌区が担当している新幹線車掌業務は、新幹線統括本部東京新幹線運輸区（仮称）の発足と共に、新幹線統括本部に移管する。
丸の内車掌区の在来線業務は同区に存置する。
2. 実施時期は2021年3月

○議論内容

【組合】

現在の新幹線業務は統括本部、在来業務は丸の内車掌区というイメージか。

【会社】

在来業務については存置となる。

2018年に示した乗務員基地再編が基本。京葉線の乗務員基地のあり方については、施策をしっかりと固めて提案していく。

【組合】

2018年で乗務員基地再編の説明を社員として受けたが、今後、説明はするのか。

【会社】

社員とも意見交換を行っているので、必要があれば行っていく。その説明が全体か、線区別かは本社と連携して考えていく。

【組合】

設備の老朽化もあるので、いいものをつくるために、前広に示してもらいたい。

【会社】

乗務員基地再編のコンセプトの通り、社員がのびのびと職場で活躍できるということが大前提となる。そこを踏まえて職場環境をつくっていく。

【組合】

変革2027が前提であり、それに基づいて乗務員基地再編で「首都圏（東京）に一極集中させない」ということの考えでいいか。

【会社】

その通りである。

【組合】

2021年3月と示されたが、現時点はスケジュール通り進んでいるということでもいいか。

【会社】

スケジュール通り進んでいる。

【組合】

会社が乗務員基地再編でワンフロア化、CS・マイプロ、業研などの設備をつくるということが謳われているが、今後、示していただけるということでもいいか。

【会社】

しかるべきタイミングで、社員にも示していくし、東労組からも提案があれば真摯に回答していく。

【組合】

乗務員基地再編で車掌と運転士が合同で訓練を行うと謳われているが、教育の方法が変わるということか。

【会社】

移管後は統括本部の配下になるが、基本的な考えは、すでにある他の運輸区の考え方と同様である。在来線においても基本は現行と同じである。

【組合】

スケジュールは後で示していただくということではあるが、今後は社員に希望を取っていくということか。

【会社】

ジョブローテーションの中で社員の将来の考え方を把握している。これから社員説明を行っていくし、個人把握もしっかり行っていく。毎年行っている秋の面談など様々な機会を通じ把握していく。社員の居住地、家庭環境なども時々において把握もしていく。

**新生JR東労組東京地本は、安全で働きやすい職場を
創り出すために精力的に取り組みを進めていきます！**